

2022年10月11日

## 高速造形 金属 3D プリンタ「LPM325S」 「2022年度 グッドデザイン賞」受賞のお知らせ

このたび、高速造形 金属 3D プリンタ「LPM325S」が、2022年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。

今回受賞した LPM325S は、1 台のマシンで多彩な金属粉末造形を可能にしたマルチ造形対応型の金属 3D プリンタです。

金属粉末の供給・回収・ふるい作業を自動で行う独自ユニットを標準搭載することで、従来 2 日間要したこれらの作業を、ユーザー自身で 2 時間以内に終わられます。複数の粉末に 1 台で対応可能で、交換作業は粉末ごとのユニットを付け替えるだけで済みます。また、加工時に発生する金属蒸気の集積物（ヒューム）の回収能力も向上、さらに機械、電源、周辺機器を一体のベースに搭載し、フルカバー内に収められるようにデザインするなど全体をコンパクト化しました。当社では今回の受賞を契機に「LPM325S」の販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に務めてまいります。

なお、LPM325S は「JIMTOF 2022」(11月8日～11月13日：東京ビッグサイト)へ出展、実機による稼働デモンストラレーションを行う予定です。※新型コロナウイルスの感染状況により、出展中止となる場合があります。

 GOOD DESIGN AWARD  
2022年度受賞



### ■製品名称：高速造形 金属 3D プリンタ「LPM325S」

■製品概要：金属粉末の熔融凝固による 3D 造形と造形物への基準面加工を 1 台の機械で行う新しいタイプのハイブリッド複合加工機。金属 3D プリンタは粉末交換作業やメンテナンスなどによる“非稼働”時間を大幅に削減が現場生産性の鍵となり“稼働率”アップに貢献。造形精度・造形速度など、3D プリンタ本来の性能を一層向上させることをコンセプトに開発。

### ■審査委員の評価

：金属 3D プリンタの位置づけは、従来の試作から、多品種少量生産が可能な製造技術に変化している。本製品は、独自の粉末交換システムにより複数の金属粉末（鉄、ステンレス、アルミ、チタン）をユーザー自身が短時間で切り替え可能で、造形不良やトラブルを未然防止する予知保全機構と造形モニタリング機能も相まって、高稼働率を達成している。持続可能な開発目標（SDGs）に適合する、必要なものを必要な分だけ製造する新しい時代の製造技術を実現している点を評価した。

### <グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ>

<https://www.g-mark.org/award/describe/53639?token=FwE2JDwcyJ>